

橋のお医者さんを 育てています。

ニュー・ブリッジは **橋梁保全技術者** の
育成と技術力向上を支援するために構築された施設です。

橋梁保全技術研修「常設研修」の特徴

1. 全国的にも珍しい劣化した橋梁部材を集めて再構築した施設を使用した「**臨床型**」の研修を実施
2. レベルに応じた「**3種類のコース**」から選択可能（受講資格有り）
3. ケーススタディなどを通じ、受講者間の「**意見交換、交流**」の場を提供

その他の取り組み

判定試験 資格登録・更新

検査点検コースおよび診断評価コース修了者に対して判定試験を実施し、合格者には合格証を発行します。登録申請し認定された方には橋梁点検士、橋梁診断士の登録証を発行します。また、登録更新制度を実施しています。

オーダーメイド研修

団体（行政・民間・業界団体・学会など）を対象とし、ニュー・ブリッジでの実習を主体とした研修です。社内研修などのカリキュラムの一部などとしても活用されています。（有料、実施日は要相談）

施設見学 施設利用

ニュー・ブリッジ施設をご案内します。実験等の施設利用は、使用許可申請手続きにより可能です。（無料、実施日は要相談）

研修協議会

本事業は、以下の協議会参加機関に支援されています。

大学（9大学）

富山県立大学、金沢大学、福井大学、岐阜大学、愛知工業大学
中部大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、名城大学

行政機関（13機関）

- ・国土交通省中部地方整備局
- ・富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ・名古屋市、静岡市、浜松市
- ・愛知県道路公社、名古屋高速道路公社

民間業界団体（3団体）

- ・（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会
- ・（一社）日本橋梁建設協会
- ・（一社）建設コンサルタンツ協会中部支部



<座学>

大学教員、国土交通省職員、民間業界団体技術者の講義により、最新の知識を習得できます。基礎コース、検査点検コースでは、ニュー・ブリッジを使用した実習も実施します。



<ケーススタディグループ討議>

検査点検コース、診断評価コースでは、班毎でケーススタディ、討議・発表を行います。臨床的な学びにより理解を深めるとともに、受講者間の交流を図ります。

< N²U-BRIDGE へのアクセス >

名古屋市営地下鉄名城線「名古屋大学駅」3番出口徒歩5分
（名古屋大学東山キャンパス構内 工学部3号館北）

<お問い合わせ>

名古屋大学大学院工学研究科 土木工学専攻
橋梁長寿命化推進室 〒464-8603 名古屋市千種区不老町
TEL/FAX 052-789-3726 E-mail N2U-BRIDGE@civil.nagoya-u.ac.jp

▼▼▼ 詳しくはHPをご覧ください ▼▼▼ (2024.4)

< 事業者 >

国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学
中日本高速道路株式会社
中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社

<https://n2u-bridge.jp/>

QRコード



橋梁保全技術研修

常設研修案内



<実習> 非破壊検査実習、損傷図作成など（コースにより異なります。）

保全技術研修用橋梁モデル

N²U-BRIDGE
ニュー・ブリッジ



東海国立大学機構名古屋大学

橋梁長寿命化推進室

常設研修「基礎コース」「検査点検コース」「診断評価コース」の 3種類の研修 があります。

各コース概要

- ・修了者には名古屋大学より修了証を発行し、9月に開催する判定試験を受験いただけます。（基礎コース除く）
- ・土木学会認定のCPDプログラムです。
- ・講師は、国土交通省、橋梁関係業界の技術者、岐阜大学、名古屋大学、中日本高速道路株式会社、中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋（株）の橋のプロフェッショナルが担当します。

※都合により変更する場合がございます。最新情報は当室のHPにてご確認ください。

コース	レベル	対象	受講資格	受講料・定員	期間 会場：東山キャンパス	カリキュラム	申込方法	判定試験 9月下旬実施	備考
基礎	橋梁維持管理の基礎知識が学べます。	・学生 ・新入社員 ・市町村の橋梁点検担当者 ・橋梁点検の基礎を学びたい方	必要なし	15,000 円 (税込) 約 30 名 ※定員は変更することがあります。 ※備考欄参照	2 日間 (年 2 回) 9～11月頃	1 日目 終日座学 「日本の橋梁の現状」 「橋梁構造の概説」 「橋梁点検の重要性」など 2 日目 座学とニュー・ブリッジでの点検実習	WEB 申込 応募者多数の場合は抽選 ↓ 当選者にお知らせ	なし	・受講者数は、一法人原則「3名」まで
検査点検	橋梁点検業務に携わる技術者の方などに適したコースです。	・橋梁点検実務者 ・道路管理者の橋梁点検担当者 ・橋梁点検実務を学びたい方	・橋梁に関わる実務経験を2年以上有すること または ・所定の資格保有者（技術士補（建設部門）ほか）	30,000 円 (税込) 約 27 名 ※定員は変更することがあります。 ※備考欄参照	3 日間 (年 5 回) 5～12月頃	1 日目 「基準の変遷」 「変状の概説」 「劣化機構の推定」など 2 日目 「国交省定期点検要領」 「点検（目視調査）の着目点」など 3 日目 「点検実習」 「ケーススタディ」	書類提出 オンライン ※詳細はHPおよび募集案内をご覧ください。	橋梁点検士 ※修了証有効期間：3年間 ▼ 合格 ▼ 登録 受験料 10,000 円 登録料 5,000 円	・受講者数は、一法人原則「2名」まで
診断評価	橋梁維持管理業務に携わる責任技術者の方などに適したコースです。	・橋梁診断実務者 ・道路管理者の橋梁診断担当者 ・橋梁診断業務を学びたい方	・検査点検コース終了後、橋梁保全業務に関わる実務経験を2年以上有すること または ・所定の資格保有者（橋梁点検士、技術士（建設部門）ほか）	20,000 円 (税込) 約 30 名 ※定員は変更することがあります。 ※備考欄参照	2 日間 (年 1 回) 7月頃	1 日目 「診断の重要性と技術者倫理」 「構造物の診断（評価・判定）」など 2 日目 「対策」 「ケーススタディ」など	HP および募集案内をご覧ください。	橋梁診断士 ※修了証有効期間：3年間 ▼ 合格 ▼ 登録 受験料 25,000 円 登録料 5,000 円	・受講者数は、一法人原則「4名」まで ・事前課題有り

橋梁点検士・橋梁診断士

- ・橋梁点検士判定試験合格者は「橋梁点検士」、橋梁診断士判定試験合格者は「橋梁診断士」に登録可能です。
- ・国土交通省の『公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格』に登録されています。
- ・橋梁点検士及び橋梁診断士の登録証有効期間は4年で、登録更新講習の修了により更新することが可能です。

申込等詳細は HP をご覧ください↓

研修日程

常設研修申込ページをご覧ください

研修申込

HP から受付期間中にお申込みください

実績

研修修了者、資格登録者数など



QRコード

名古屋大学 ニュー・ブリッジ

検索

受講者の声

基礎

「座学で学んだことを実際に確認できてよかった。説明も実体験を踏まえての説明で非常にわかりやすかった。」（30代・コンサル）

「これまでは発注者側として点検の成果品を確認するのみで、それまでの損傷図作成にかかるプロセスは良く分かっていなかった。今回その作業の困難さを痛感した。」（20代・行政）

検査点検

「（実習では）実際に機器を使用し、損傷状況を見ることが出来て良かった。」（20代・コンサル）

「実践的でとても勉強になりました。特にグループディスカッションでは自分の考えをまとめて、グループの意見などで自分の未熟さ等もわかり、さらに勉強が必要であることがわかり良かったです。」（30代・コンサル）

「意見交換の時間で様々な人の考え方を知ることが出来てよかった。」（40代・行政）

「個別の質問にも親切に対応していただけてとても助かりました。」（30代・建設会社）

診断評価

「（事前課題について）疲労について事前に勉強し、講義の内容を理解する事が出来た。」（40代・コンサル）

「現在、自らがかかえている問題に対し、いろいろヒントをいただき非常に有効でした。」（40代・道路事業者）

「橋梁の変状に対して、補修、補強の対策について例を挙げて学ぶことができて参考になった。グループ討論では他会社のメンバーの考え等が聞けて参考になった。」（40代・建設会社）

大学での実験結果等、最新の知見を含めた内容でとても参考になりました。（40代・コンサル）